

ティーチング・ステートメント

所属 横浜商科大学

名前 佐々 徹

作成日 2020年2月5日

【責任】

研究者としての活動を始めて以来、家業の経営後継者や起業家の育成に携わってきた。その中で、欧米型の「ビジネス」とは異なる日本の「商い」の精神（商道）に触れて深い感銘を受け、「日本発のアントレプレナーシップ（起業家精神）教育の構築と、日本型アントレプレナーシップを身につけた人材の育成」をライフワークとして取り組んでいる。

次の時代を担う学生たちに対して、この「日本型アントレプレナーシップ」を継承していくことを自分の使命として考えており、特にゼミナールを中心として、そのための教育を推進している。

【理念】

「安んじて事を托さるゝ人となれ」という本学の建学の精神に対し、商学部であるからこそできることは、ビジネスの社会において「事を托さるゝ人」の育成であり、「ビジネスの社会において事を托さるゝ人」の究極は「起業家（アントレプレナー）」であると考えている。

他方、社会経験がない学生に対して、安易に「起業家教育」を行うことは危険を伴ううえ、そもそも「起業家」はそれを強く志向する人びとのみが目指せばよいものである。したがって、学部レベルの教育においては、起業家の育成を目指す「アントレプレナー教育」ではなく、起業家精神の涵養を目指す「アントレプレナーシップ教育」を推進するべきである。

この「アントレプレナーシップ教育の推進」を基本理念として、本学での教育活動に取り組んでいる。そして、「いつでも様々な活動の中心にいる人になる」というキャッチフレーズを使って、その本質を学生に伝えている。

また、それにあわせて、次の時代を担う学生たちに対し「日本型アントレプレナーシップ」を継承していくという自身の使命に基づき、学生が日本の商いの素晴らしさや奥深さに気づくことのできる教育の推進も基本理念としている。

【方針・方法】

（概要）

アントレプレナーシップの本質は、社会課題を発見し、解決策を立案・提示し、それを実現させ、継続的に運営していく一連の活動を、それに携わるメンバーや協力者の中心になって推進していく資質・態度である。それゆえ上述のとおり、学生に対しては「いつでも様々な活動の中心にいる人になる力」と解説している。そして、その力を構成する5つの要素を提示し、それを養成する教育を行っている。

また、その中では、日本の社会や文化、伝統に根差した「日本型アントレプレナーシップ」の次世代への継承を重視しており、それを学生に伝えることにも注力している。

【方針1】「様々な活動の中心にいる人」に必要な「5つの力」を育成する。

〔1〕「仲間をつくる力」の育成：自分が実行したいと考えることをしっかりと提案し、周囲の人びとに理解させ、協力者を集めていく力を高めるトレーニングをする。

- ・方法1：提案力と企画力を鍛えるトレーニングの実施。
- ・方法2：プレゼンテーションのトレーニングの実施。

〔2〕「チームを動かす力」の育成：すべてのプロジェクトにチームで取り組み、チームを動かす力とチームで動ける力を磨く。

- ・方法：グループワークの重視。

〔3〕「自分で決める力」の育成：すべての決めごとを学生全員で話しあって決定する。

- ・方法1：実践ファースト（学生に「やらせてから、教える」）の教育。
- ・方法2：正解のない課題を与え、考えさせる。

〔4〕「現場をしきる力」の育成：教室の中だけではなく、学外に出て実際の現場を動かす体験を重ねる。

- ・方法1：教科書に頼らず、現場での体験から始める独自の教育プログラムを開発する。
- ・方法2：体験ベースの学習をさせる。
- ・方法3：実務家と接触・交流する機会を積極的に作り、彼らの体験・経験を共有できるようにする。

〔5〕「自力でかせぐ力」の育成：どのような活動（事業）であっても、それを始めるときはもちろん、継続するときも資金が必要となる。その資金を確保するにはどうすればよいかを、商店街などで行われるイベントへの出店等を通して体験的に学習する。

- ・方法1：学生を行動させる環境をつくる。
- ・方法2：過度なリスクを学生に負わせることのないように注意しつつ、ゲーム感覚で競争のできるプログラムを開発する。

【方針2】日本の「商い」を見せる。

- ・方法1：商店街等を体験の場とし、伝統的な日本の商いに触れる機会を設ける。
- ・方法2：自営業者と接触・交流する学習機会をつくる。

【方針3】現実の課題を教材とする。

- ・方法1：学生が現実の課題で実習できる環境や仕組みをていねいにつくる。
- ・方法2：教材は、基本的に自分自身で開発する。

【評価・成果】

- (1) 授業に参加した学生たちの企画・提案したことが、商店街等で実現している。
 - ・野毛商店街（横浜市中区）でのイベント
 - ・大口通商店街（横浜市神奈川区）でのイベント
 - ・JR 東日本「駅からハイキング」鶴見区制 90 周年コース 等
- (2) 学生と商店街関係者等が、イベント等を協力して実施している。
 - ・野毛大道芸、野毛流し芸、おおぐち納涼夜店、山下会「子どもフェスタ」、緑区民まつり、反町駅前商店街「商店街プロレス」等

【目標】

- (1) 学生が自分たちの成果を実感できる場づくり
学生たちが地域や商店街等に提案したことが、彼ら自身の手によって実行できたり、自分の提案が実現した結果を見ることができるよう、協力者や関係団体への働きかけをさらに積極的に進める。
- (2) 女子学生への起業家精神教育の推進
起業家精神教育には、ロールモデルとなる身近な人やメンターの存在が必要である。女子学生への起業家精神教育は、男女共同参画社会の実現にとっても非常に重要であるが、本学は女子学生の割合が低いため、彼女たちが自分のロールモデルやメンターとなる先輩を見つけにくい。しかし、本学出身の女性経営者もおられるので、同窓会に女性経営者支部の創設を働きかけ、実現させたい。
- (3) 留学生に対する起業家教育の推進
神奈川県は「経営管理ビザ特区」として、外国人創業活動促進事業を推進している。こうした政策に対し、地元の商科大学として貢献できるようにするために、本学においても留学生に対する起業家教育のプログラムを開発し、留学生起業家の輩出を推進したい。